




自分から周囲に積極的にかかわっていくとき
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること



もできるようになる4歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
発見・考え・表現する力	好奇心や探求心をもって、ものとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> 「〇〇ごっこ」などイメージのある遊びを楽しんだり、自分なりに試したり工夫したりして遊ぶようになる。 自分と相手との思いの違いがあることが分かるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に「〇〇ごっこ」などの遊びを楽しめるよう、遊びの拠点となる遊具(積み木、ベンチなど)を用意したり、遊びのイメージをより広げたり深めたりできるような様々な素材を用意する。 劇など様々な表現遊びを発表する機会をつくる。
	感じたこと、考えたことを言葉で伝える	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然や季節の変化に興味や関心をもち、遊びに取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然物と素材を組み合わせて、製作が楽しめるようにする。 季節ごとの行事や遊び、毎日の天候や霜柱や氷などの自然現象との出会いを大切に、関心をもてるようにする。 
	文字や数量などの感覚を豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> その日や過去の出来事などを自分なりの言葉で友達に伝えるようになる。 文字や数、事象や物事に対して、ますます興味が広がる。 絵本やお話などイメージをふくらませて楽しむようになる。  	<ul style="list-style-type: none"> その日に楽しかったことなどを、みんなの前で話す機会を設け、聞いてもらううれしさが感じられるようにする。 幼児の興味に合う図鑑や絵本を用意し、遊びや生活の中で、無理なく数や文字に触れられるようにする。 不思議に思う気持ちに共感したり、一緒に考えたりしながら、幼児が知る喜びを味わい、興味・関心をもって物事にかかわることができるようにする。 みんなで一緒に絵本やお話などの世界に浸り、自分なりの想像を膨ませながら楽しめるように、落ち着いた雰囲気の中で読み聞かせをする。

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)
 <ul style="list-style-type: none"> 親子でたくさんの会話を楽しみましょう。 周りの子どもと比べず、我が子なりの表現を認め、楽しさに共感してあげましょう。 子どもの気持ちに寄り添い、話をじっくりと聞くようにしましょう。 友達との意見の食い違いやトラブルはつきものです。相手の思いを代弁するなどして、友達の思いにも気が付くことができるようにしましょう。
 <ul style="list-style-type: none"> 近隣の公園や外出先など、家族でドングリやマツボックリなどの自然物を採取するなどして興味や関心に共感したり、一緒に楽しんでみましょう。 登降園の際に「いい天気だね。」「今日は涼しいね。」「風が強いね。」など、一緒に自然現象へ興味を向けてみましょう。
 <ul style="list-style-type: none"> 話の先を急いだり、答えを先に言ってしまったりするのではなく、大人が聞き上手になり、子どもが自分で考えて話せるような会話を心がけましょう。 親戚や知人の集まりなどで、親子で一緒にあいさつをしたり、名前を言うきっかけをつくらせてみましょう。 遊びや生活の中で文字や数量に興味をもってきたときに、文字を使う楽しみ、文字で伝える喜びを一緒に体験していきましょう。また比べたり数えたりするなどして、数や量に親しみましょう。 しりとり遊びや逆さ言葉遊びなど、家族で遊んでみるのもよいでしょう。